（一社）宮城県バスケットボール協会Ｕ１２部会
普及事業活動について

2025 年の実績

①加者全員参加のバスケットボールゲーム企画

○　毎年夏に開催している「東北 U12 バスケットボールサマーキャンプ」において，交歓試合の合間に，全員参加のバスケットボールゲーム（ドリブルリレー・４年生以下の選手参加の交流試合）を開催。ベンチ登録以外の選手も全員参加型のイベントとして開催するため，特に下級生の子供たちにとっては，違うチームの子供たちとの交流など楽しむ様子がある。

②楽しくリーグ戦

○　県内８地区において，リーグ戦を開催している。その中で，「交流戦」を取り入れながら，出場機会が少ない選手や低学年の選手などが試合を行う機会などを作っている。年間を通してリーグ戦を行う地区と，期間を限定して行う地区があるが，今後は，年間を通じて行うよう調整している。

③フレッシュ・ミクロバスケットボール教室

○　まだ実施しているチームは少ないが，２年生以下の子供たち（幼稚園児）を対象としたバスケットボール教室を開催している。U12 部会の普及委員長や指導者養成委員長が中心となり，初めてバスケットボールに触れる子供たちにも楽しみながら挑戦できる機会を作り，バスケットボールの普及を目的としている。2026 年度からは，全８地区でも開催予定としている。

④B リーグ（仙台 89ERS）前座試合やイベント参加による普及活動

○　仙台 89ERS のホームゲームの前座として，年数回 U12 部会の枠として前座試合やイベントなどに協力し，来場される一般の方々にも U12 の子供たちのバスケットボールを行う姿を見ていただいている。また，参加する子供たちにも，将来，プロの選手としてコートに立って試合ができるよう志すきっかけ作りも目的としている。

2026 年度事業計画

④仙台 89ERS との連携によるキッズ事業

○　上記③の事業の充実のため，2026 年度から仙台 89ERS と連携し，キッズ事業を開催する。上記の対象は，小学３年生以下および年長・年中の幼児，バスケットボール未経験またはそれに近い子どもとし，宮城県内複数会場での体験教室を基本として全８地区で行う。将来的には仙台 89ERS ホームゲーム連動イベントや出前クリニック等も視野に入れ，事業を展開予定である。県協会・U12 部会が事業全体主催として企画立案し，D-fund A を活用して，仙台 89ERS アカデミーが具体的なプログラム設計やコーチ・スタッフの派遣，公式サイト・SNS 等を活用した広報，会場提供などで協力する予定である。

⑤フレッシュ・ミクロバスケットボール大会

○　コロナ禍以降，開催できていないため，今年度から復活開催予定の表記大会。５年生以下の子供たちが，自チーム以外の子供たちと入り交じってチームを作り，交流試合を行うもの。以前は参加人数が多かったため，規模は限定して開催する。